

令和7年度 事業概要



令和7年5月

国土交通省
中部地方整備局
沼津河川国道事務所

1. 沼津河川国道事務所の概要

静岡県東部・伊豆地域において、安全・安心の確保、地域の活性化等に必要な社会資本の整備を進めています。

治水事業関係として、以下を行っています。

(1) 河川事業

狩野川の改修工事、維持・修繕、雨量・水位情報の収集及び、洪水予報、水防警報の発信伝達

(2) 砂防事業

狩野川本川上流域の砂防工事

伊豆東部火山群（狩野川流域を除く）の砂防工事に関する調査

(3) 海岸事業

富士海岸は、令和7年4月1日付けで、沼津河川国道事務所から静岡河川事務所へ事業移管

道路事業関係として、以下を行っています。

(4) 道路事業

伊豆縦貫自動車道、国道1号、138号、246号及び414号の改築、維持修繕、交通安全対策、無電柱化

危機管理関係として、以下を行っています。

(5) 危機管理

静岡県東部・伊豆地域の危機管理体制を強化、災害発生の防止、被害の軽減

2. 令和7年度の事業費

単位：百万円 ※1

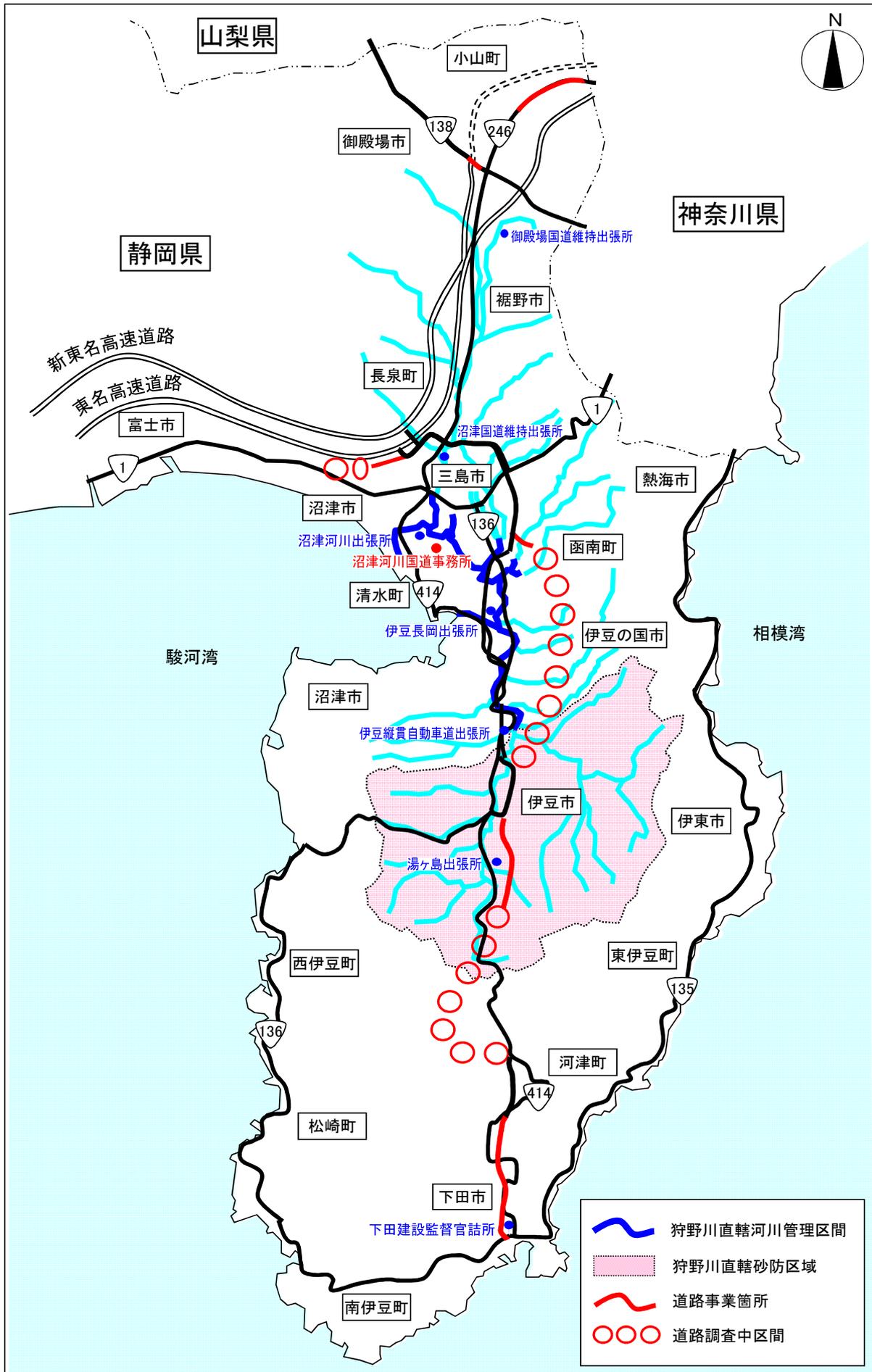
事業内容		令和7年度 当初	令和6年度 補正	令和6年度 当初	令和5年度 補正	伸率 ※2
治水	河川	2,164	1,244	2,106	1,339	0.98
	砂防	792	384	832	253	1.08
	海岸※3	0	0	705	200	0.00
	小計	2,956	1,628	3,643	1,792	0.84
道路		6,779	1,180	4,787	550	1.49
合計		9,735	2,808	8,430	2,342	1.16

※1 上記金額は百万円単位で整理しているため合計金額があわない場合がある。

※2 伸率は(令和7年度当初+令和6年度補正)÷(令和6年度当初+令和5年度補正)

※3 富士海岸は、静岡河川事務所へ事業をR7年4月移管に伴い、R7当初より削除

図一 沼津河川国道事務所管内図



3. 令和7年度の事業内容

(1) 河川関係

狩野川は、伊豆半島中央部の静岡県伊豆市の天城山系に源を発し、大小の支川を合わせながら北流し、田方平野から駿河湾に注ぐ幹川流路延長約46km、流域面積約852km²の一級河川です。

昭和42年6月に、一級河川として指定され、このうち、

本支川（狩野川 24.9km、黄瀬川 2.7km、柿田川 1.2km、大場川 2.6km、来光川 1.5km、柿沢川 0.9km）

の直轄管理区間（計33.8km）及び、狩野川放水路（3.0km）について、河川改修及び維持管理を行っています。

令和7年度主な事業内容

○沼津市大岡地区、清水町長沢地区の樋管改築等を実施します。

○沼津市大平地区の築堤、用地取得を実施します。



伊豆半島上空から見た狩野川



河口部と沼津市街地

一般河川改修事業

河川資料①

沼津市大岡地区、清水町長沢地区

令和7年度は大岡地区、長沢地区において樋管改築等を実施します。

- ・現 状：長沢地区は堤防高が不足の箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・対 策：令和3年7月出水時に静岡県が管理する黄瀬川大橋が落橋したため、橋梁本復旧事業と連携し、堤防整備等を進めていきます。令和7年度は、樋管改築等を実施します。

【大岡地区、長沢地区の整備説明図】

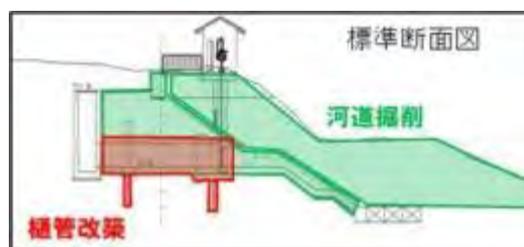
事業位置図



航空写真



標準断面図



おおひら
沼津市大平地区

令和7年度は大平地区において築堤、用地取得を実施します。

- ・現 状：大平地区は堤防高が不足している箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・対 策：令和7年度は、築堤、用地取得を実施します。

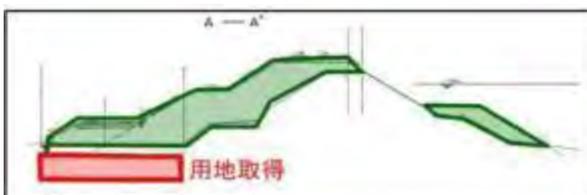
【大平地区の整備説明図】
事業位置図



航空写真



標準断面図



狩野川の適正な維持・管理

河川資料③

かのがわちよつかつかんりくかんぜんいき
狩野川直轄管理区間全域

かのがわちよつかつかんりくかん
狩野川直轄管理区間の河道流下断面の確保と、適正な河川利用等のため、巡視を行う
とともに、河川管理施設の点検・補修等を実施します。

直轄管理区間



河川の巡視

河川や堤防等に異常がないか、河川空間の利用時に危険はないか、ゴミ投棄などの不法行為はないかなどを把握するため、日常の巡視を行うとともに、台風などの出水時や、地震時等の緊急時に巡視を行います。



河川の巡視
(タブレット端末を活用した巡視状況登録)



河川敷の不法投棄



不法投棄対応
(警告看板の設置)

河川管理施設の点検

堤防及び樋管・排水機場等の河川管理施設に異常がないか点検を行います。



河川管理施設の点検
(護岸ひび割れ状況の確認)

河川管理施設の補修等

傷んだ堤防や護岸の補修、川の流れを阻害する樹木の伐開、出水で流れ着いた塵芥の撤去を行います。



樹木の伐開

狩野川放水路分流堰等の操作

狩野川放水路分流堰、排水機場、樋管、陸閘等の適切な操作を行います。



放水路分流堰の放流状況

水質事故対策

突発する水質事故に対処するため、関係機関と連携を取りながら必要な対策を行います。



水質事故現地対策訓練の様子
(流出油の回収訓練)

(2) 砂防事業 ～ 生命と財産を土砂災害から守るために ～

砂防事業は、土石流などの土砂災害から住民の生命、財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出による河床上昇に伴う洪水氾濫を、防止・軽減するために、上流域において、土砂の生産・流出を砂防施設によって調節することを目的としています。

当事務所では、昭和33年9月の狩野川台風を契機に、昭和34年から直轄砂防事業を実施しており、狩野川河口から約27.8kmの修善寺橋を起点とした上流域約270km²の狩野川流域（修善寺川流域を除く）において、砂防堰堤、溪流保全工の整備等の砂防事業を実施しています。

また、伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査も実施しています。

令和7年度の主な事業内容

- 松沢川砂防堰堤群の松沢川第2砂防堰堤を完成。引き続き管理用道路の工事を実施します。
- 墓道洞砂防堰堤整備工事を実施します。
- 既設砂防堰堤の改築工事（流木対策工）を実施します。
- 砂防事業の管内において溪流を監視する機器を整備します。
- 伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を実施します。

■昭和33年狩野川台風による災害(契機災害)

- ・約1,200箇所の上流・山腹・溪岸崩壊、22箇所の堤防の決壊
- ・死者684人、行方不明者169人、家屋被害6,775戸



筏場崩壊地



狩野川上流の被災状況
(旧修善寺町熊坂地区)

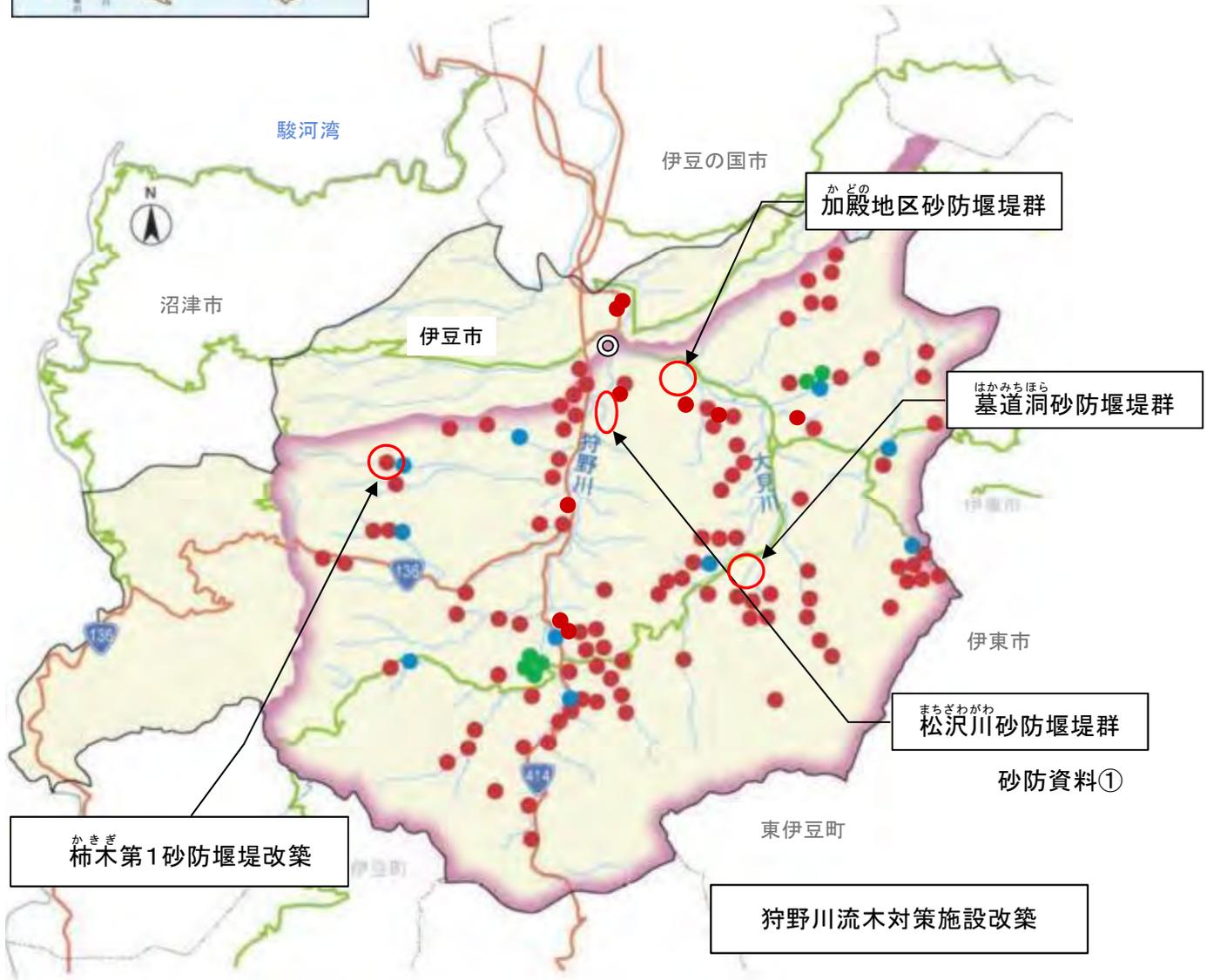


狩野川中下流域の被災状況
千歳橋(旧伊豆長岡町)

砂防事業位置図



- 狩野川流域
- 狩野川直轄砂防事業区域



砂防資料①

- 砂防堰堤(既設)
- 溪流保全工(流路工)(既設)
- 山腹工・護岸(既設)
- 直轄砂防事業実施区域
- ◎ 伊豆市役所
- 国道
- 主要地方道

まちざわがわ
松沢川砂防堰堤群（継続）

砂防資料①

かじやま
静岡県伊豆市梶山

令和7年度は、^{まちざわがわ}松沢川第2砂防堰堤完成後の管理用道路を施工します。

^{まちざわがわ}松沢川で想定される土石流の氾濫範囲には、緊急輸送路である国道136号の代替機能を持つ県道349号線や、広域一般廃棄物処理施設「クリーンセンターいず」、一般家屋等があることから、これらを土砂災害から保全するための砂防堰堤の整備を実施します。



- 凡例
- : 完成
 - : 計画地

火山噴火緊急減災砂防調査（継続）

砂防資料②

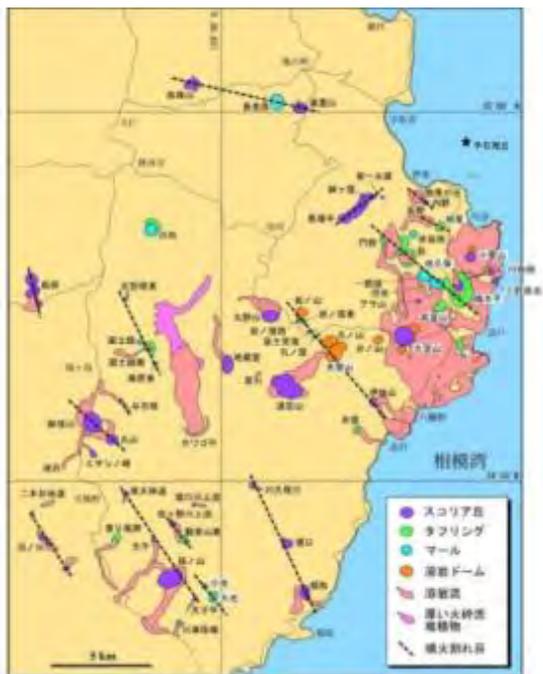
伊豆東部火山群

令和7年度は伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を継続します。

伊豆東部火山群における警戒避難体制整備のため、緊急減災対策ドリル（案）を検討・作成します。



伊豆東部火山群防災協議会資料より



伊豆東部火山群の分布図
伊豆東部火山群の火山防災対策検討会報告書より



火山と隣り合わせの地域（赤色立体図で見る大室山と伊豆高原）

火山噴火により流出した溶岩流が伊豆高原を造り、海に流れ拡がった様子から、火山と隣り合わせの地域であることがよく分かる。

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格道路である、伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、河津下田道路(I期)(II期)、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野))及び、国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びに、それらに関する調査を行います。

令和7年度の主な事業内容

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

- － 関係機関協議を推進

国道414号 河津下田道路(I期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

- － 関係機関協議、地質調査、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地買収、移転補償、改良工を推進

国道414号 河津下田道路(II期)

○河津逆川IC～下田北IC(仮称)(延長3.8km)

- － 関係機関協議、用地調査、環境調査、水文調査、用地買収、移転補償、改良工、トンネル工を推進

国道414号 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)

○月ヶ瀬IC～茅野IC(仮称)(延長5.7km)

- － 関係機関協議、地質調査、道路予備設計を推進

◆一般道路

国道1号 ^{ひがしするがわん}東駿河湾環状道路 ^{ぬまづおかのみや}（沼津岡宮）^{あしたか}～^{あしたか}愛鷹

○^{ぬまづおかのみや}沼津岡宮IC～^{あしたか}愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

- － 関係機関協議、地質調査、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、橋梁詳細設計、用地買収を推進

国道138号 ^{ごてんば}御殿場バイパス（西区間）

○^{ごてんば}御殿場市中畑～^{ごてんば}御殿場市ぐみ沢 ^{ざわ}（延長2.9km）

- － 関係機関協議を推進

国道246号 ^{すその}裾野バイパス

○^{すんどう}駿東郡小山町生土～^{すんどう}駿東郡小山町上野 ^{うえの}（延長4.4km）

- － 関係機関協議、用地調査、環境調査、水文調査、用地買収を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号・414号の4路線、111.0kmを3出張所（沼津国道維持出張所：38.4km、御殿場国道維持出張所：46.9km、伊豆縦貫自動車道出張所：25.7km）で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
（橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など）
- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議の中で、橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

・国道1号山中新田地区事故対策

・国道246号小山上野地区視距改良

○歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

○電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

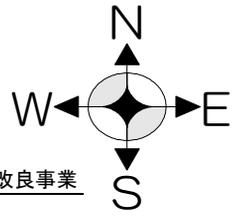
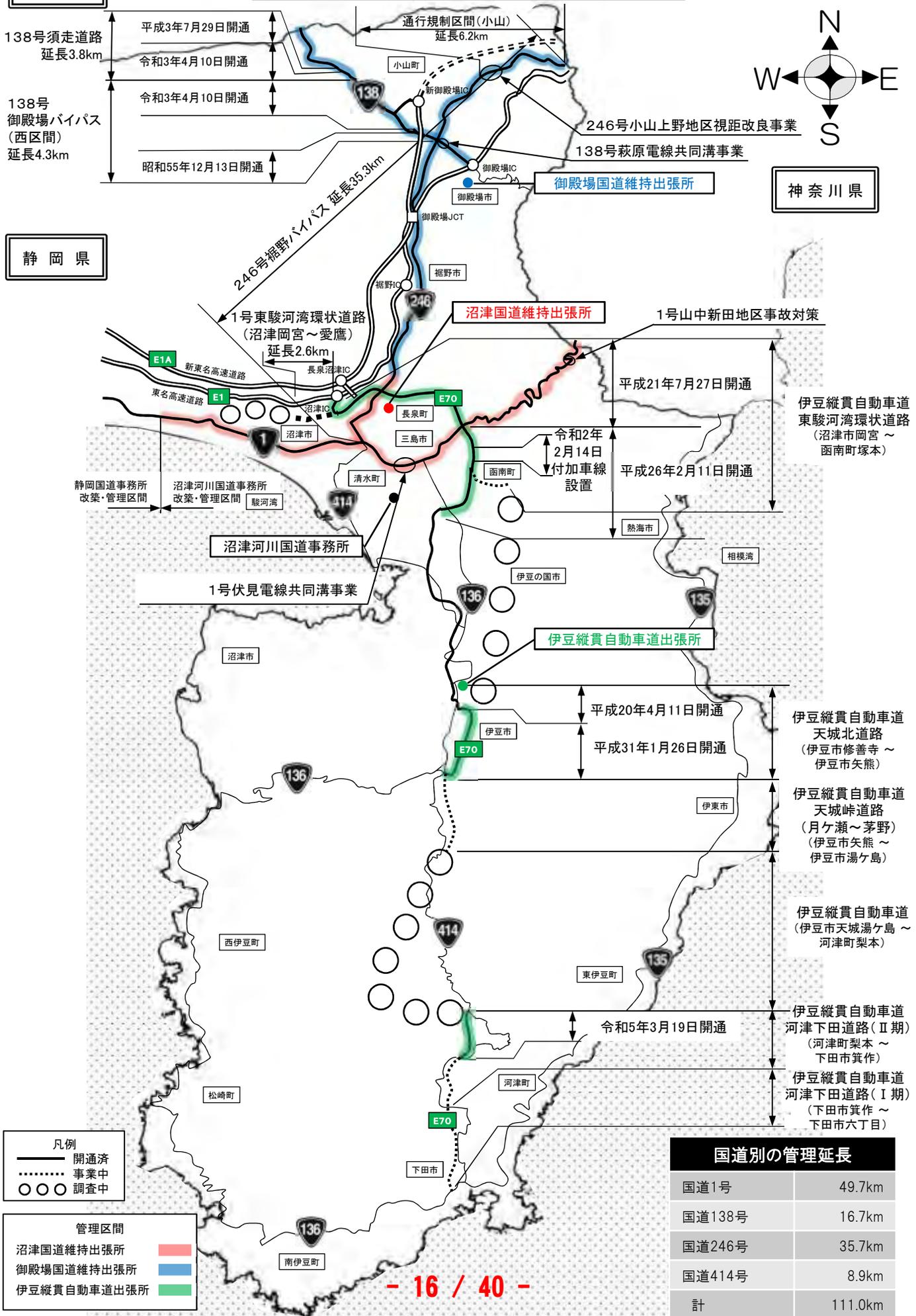
・国道1号伏見電線共同溝

・国道138号萩原電線共同溝

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図

山梨県



神奈川県

静岡県

凡例
 — 開通済
 事業中
 ○○○ 調査中

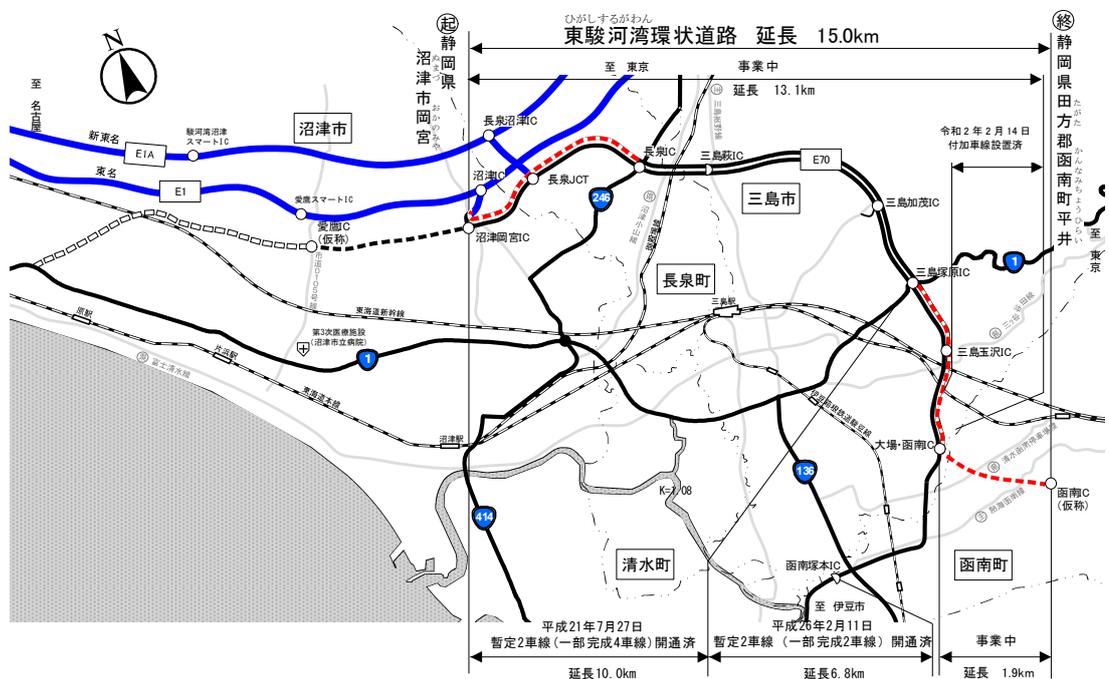
管理区間
 沼津国道維持出張所
 御殿場国道維持出張所
 伊豆縦貫自動車道出張所

国道別の管理延長	
国道1号	49.7km
国道138号	16.7km
国道246号	35.7km
国道414号	8.9km
計	111.0km

ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路

ひがしするがわんかんじょう
東駿河湾環状道路は、いずじゅうかん
伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、ぬまづおかのみや
沼津岡宮ICを起点とし、たがた
田方郡
函南町平井に至る延長15.0kmの自動車専用道路です。

ぬまづ みしま
沼津・三島市街地における交通渋滞の緩和、交通事故の削減をはじめ、
いず
伊豆地域への玄関口として伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の
発展、活性化を支援する東駿河湾環状道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成 21 年 7 月 27 日
ぬまづおかのみや みしまつかはら
沼津岡宮IC～三島塚原IC (延長 10.0km)
暫定 2 車線 一部完成 4 車線開通
- 平成 24 年 3 月 24 日
みしまかも
三島加茂IC 開通
- 平成 24 年 4 月 14 日
ながいずみ
長泉 JCT 供用 (新東名 (長泉沼津IC) と接続)
- 平成 26 年 2 月 11 日
みしまつかはら かなみつかもと
三島塚原～函南塚本 (延長 6.8km) 開通
- 令和 2 年 2 月 14 日
だしば かなみ みしまたまざわ
大場・函南IC～三島玉沢IC 間の上り坂区間 (延長約 0.9km)
付加車線設置

【令和 7 年度の主な事業内容】

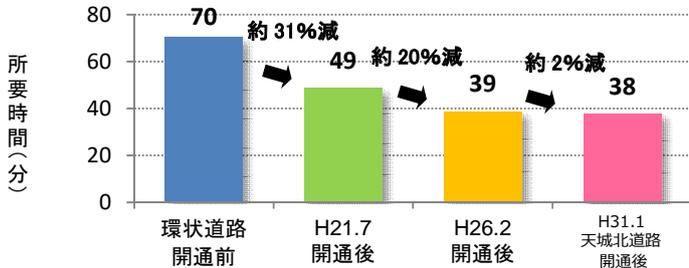
- 大場・函南IC～函南IC (仮称) (延長 1.9km)
一関係機関協議を推進

<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名高速道路 沼津ICから天城北道路 月ヶ瀬ICまでの所要時間が短縮しました。

○東名沼津IC～天城北道路
月ヶ瀬ICの所要時間

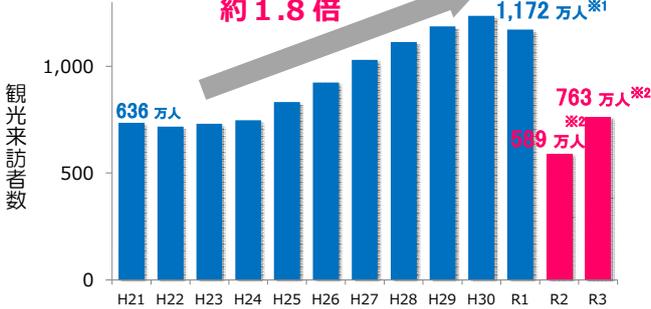


- ※所要時間算出方法
- ・環状道路開通前：H17 全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度
 - ・H21.7開通後：H22 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
 - ・H26.2開通後：H27 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
 - ・H31.1天城北道路開通後：ETC2.0プローブ情報 (H31.2)

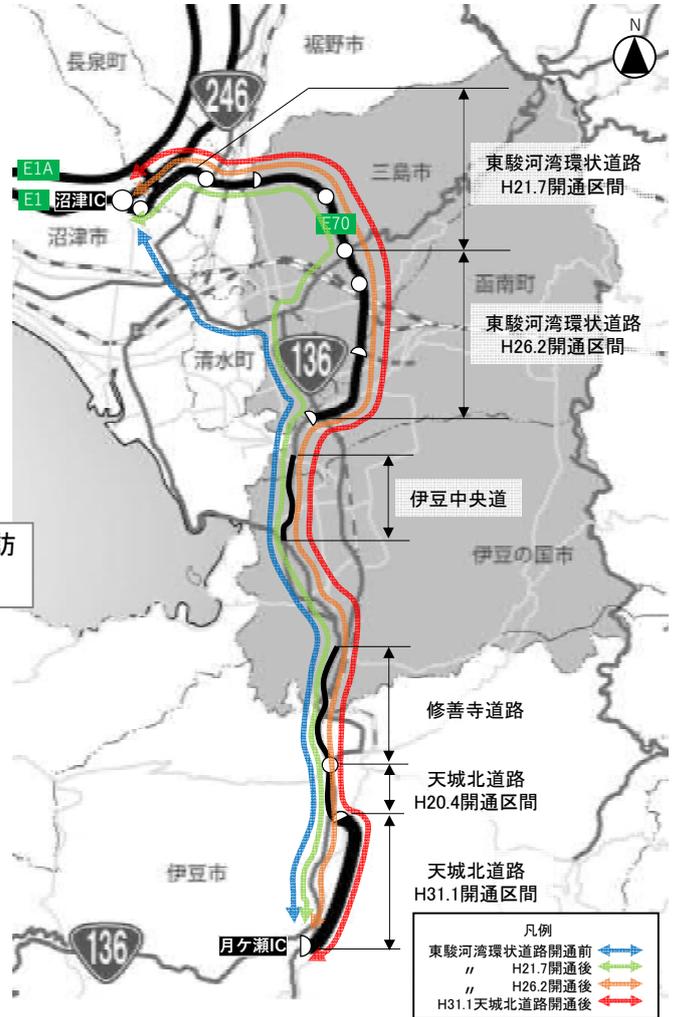
■観光交流客数の増加

沿線市町(三島市、函南町、伊豆の国市)への観光来訪者数が平成21年度に比べて約1.8倍に増加しました。

○観光来訪者数
(三島市・函南町・伊豆の国市)
(万人)



※1 令和元年度は10月以降、台風及び新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 ※2 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 資料：静岡県観光レクリエーション客数 (H21.4-R4.3)



国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市六丁目を起点とし、下田市箕作に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展・活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

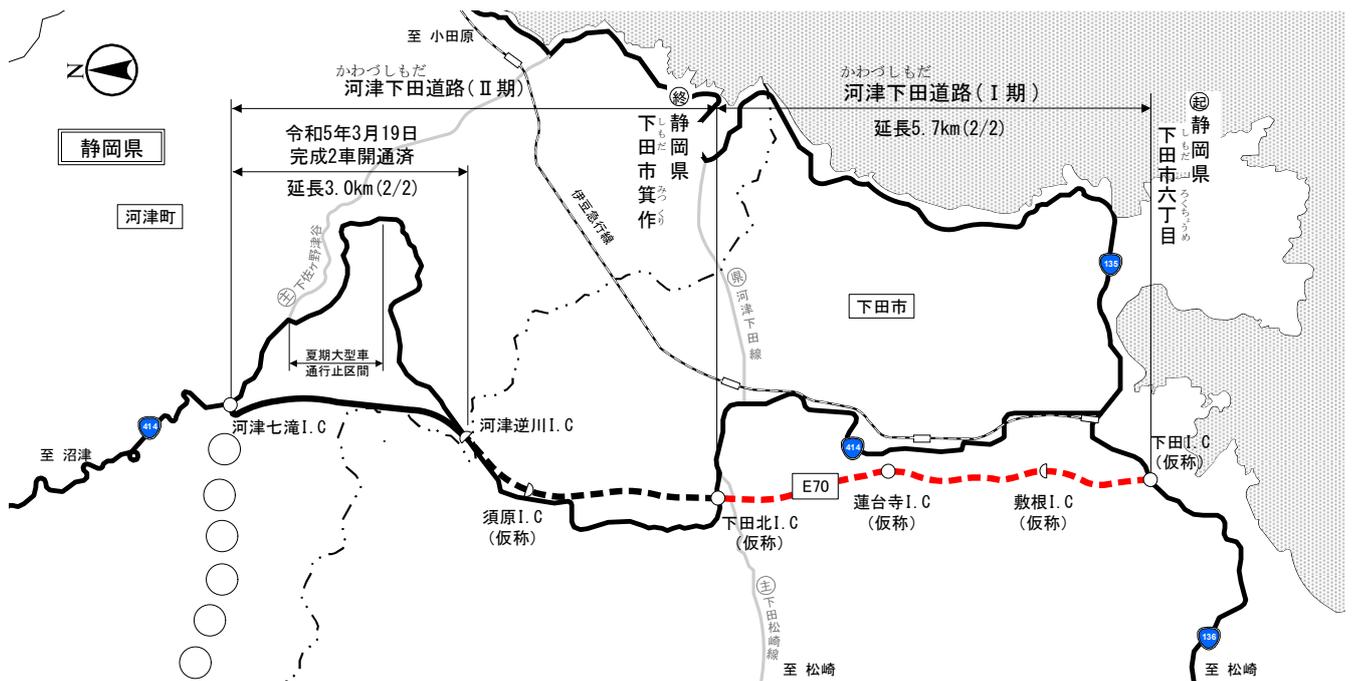
【これまでの取組】

- ・平成10年4月 新規事業化
- ・平成26年11月25日 都市計画決定
- ・平成27年2月21日 中心杭打ち式
- ・平成28年8月～9月 設計説明会
- ・令和4年11月19日 起工式

【令和7年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

－関係機関協議、地質調査、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地買収、移転補償、改良工を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

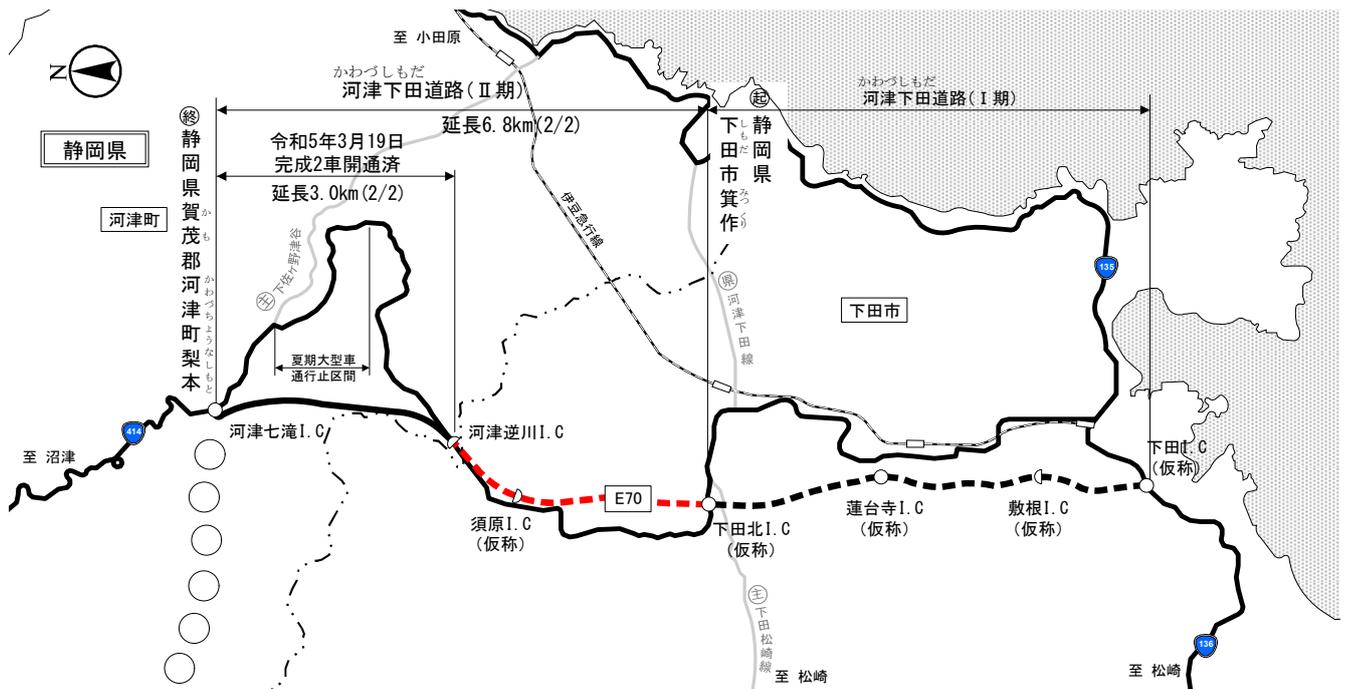
【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成27年2月21日 起工式
- ・令和5年3月19日 河津七滝IC～河津逆川IC開通式
- ・令和7年2月8日 2号トンネル着工式

【令和7年度の主な事業内容】

○河津逆川IC～下田北IC（仮称）（延長3.8km）

—関係機関協議、用地調査、環境調査、水文調査、用地買収、移転補償、改良工、トンネル工を推進



<整備効果>

■所要時間の短縮

河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝 IC～河津逆川 IC の開通により、移動時間の短縮のみならず、災害時のリダンダンシーの確保、走行性の向上による物流効率化、観光・交流人口の拡大にも寄与しました。



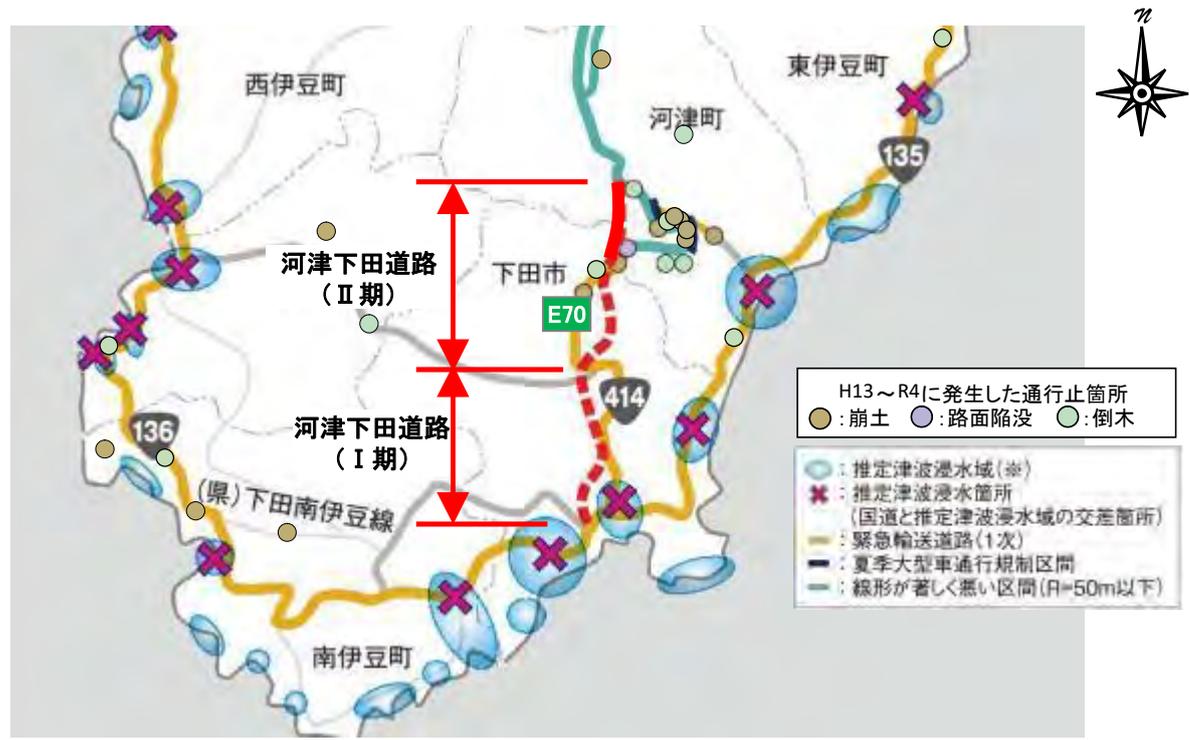
■走行性の向上（平均速度）



■交流人口の拡大



南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間を回避するルートを確認することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



■救急医療活動の支援

河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝 IC～河津逆川 IC の開通により、第三次救急医療施設までの所要時間の短縮が短縮しました。また、伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設からの1時間到達圏域が伊豆南部地域まで拡大し、救急救命率向上が期待されます。

○救命救急率の向上

【下田市から多量出血で搬送の例】

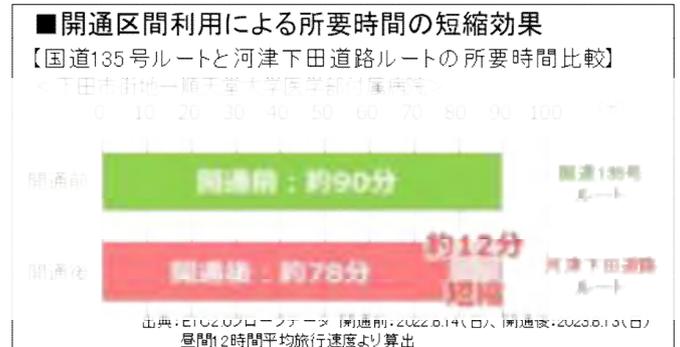
心臓停止や、呼吸停止、多量出血後は時間の経過とともに死亡率が上昇するため、一刻も早く救急病院に搬送する必要があります。

○第三次救急医療施設1時間到達圏の拡大
（順天堂大学医学部付属静岡病院）



出典：下田消防本部ヒアリング結果（令和6年1月）

○河津七滝 IC～河津逆川 IC 開通効果



■開通前後の救急搬送経路の変化



■国道414号河津下田道路の状況写真



いずじゅうかん
伊豆縦貫自動車道

あまぎとうげ つきがせ かやの
国道414号 天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）

あまぎとうげ つきがせ
天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、月ヶ瀬ICを起点とし、かやの
茅野IC（仮称）に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保をはじめ、伊豆半島部の高速ネットワークサービスを提供し、伊豆地域の救急医療活動や観光振興を支援するあまぎとうげ
天城峠道路の整備を推進します。

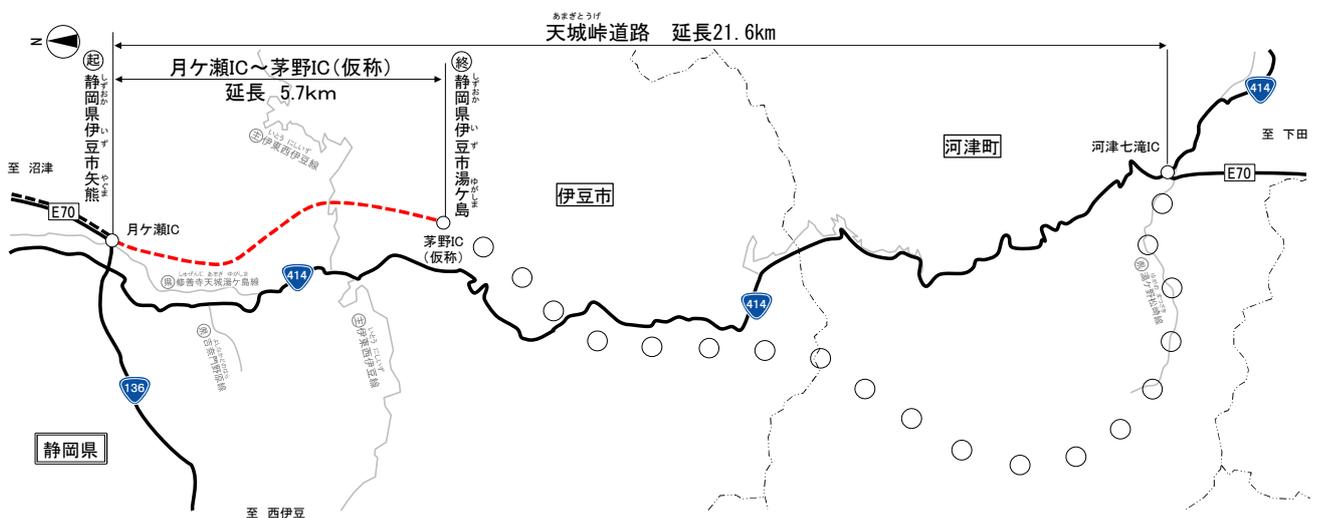
【これまでの開通経緯】

- ・令和5年1月31日 都市計画決定
- ・令和5年4月 新規事業化

【令和7年度の主な事業内容】

つきがせ かやの
○月ヶ瀬IC～茅野IC（仮称）（延長5.7km）

－関係機関協議、地質調査、道路予備設計を推進

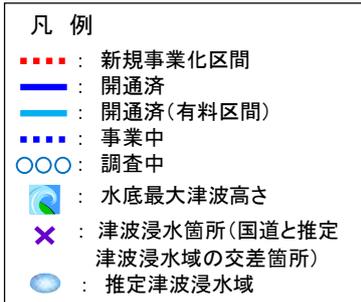


<整備効果>

■災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保

南海トラフ巨大地震等の発生後、伊豆地域の沿岸部では、津波による浸水が想定されています。

天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)の整備により、災害発生時に代替性が確保され、新東名、東名高速道路からの救命・救援ルートとして、伊豆半島の支援に寄与することが期待されます。



出典: 静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)(平成25年11月)

影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日～1週間
B	小	当日～3日
C	なし	—

出典: 内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(平成25年3月)より作成

○南海トラフ巨大地震発生時の被害想定



■救急医療施設等への速達性・確実性の向上

伊豆地域南部には、第三次救急医療施設(順天堂大学静岡病院)へ1時間以内に到達できない市町が多く存在しています。

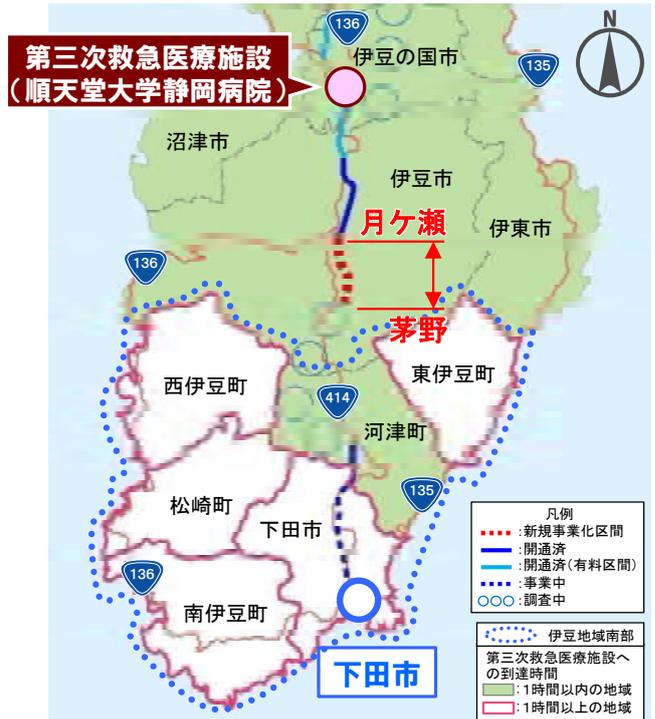
天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)を含めた伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設への救急輸送1時間到達圏域が拡大し、下田市からの所要時間は約26分短縮されます。

○伊豆縦貫自動車道の整備による下田市から順天堂大学静岡病院への所要時間の変化



【現況】ETC2.0プローブ情報(2022年9月平日7-19時間平均)
 【整備後】未開通区間(河津下田道路(I・II期)、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野))は設計速度80km/hとして算出

○第三次救急医療施設への到達時間

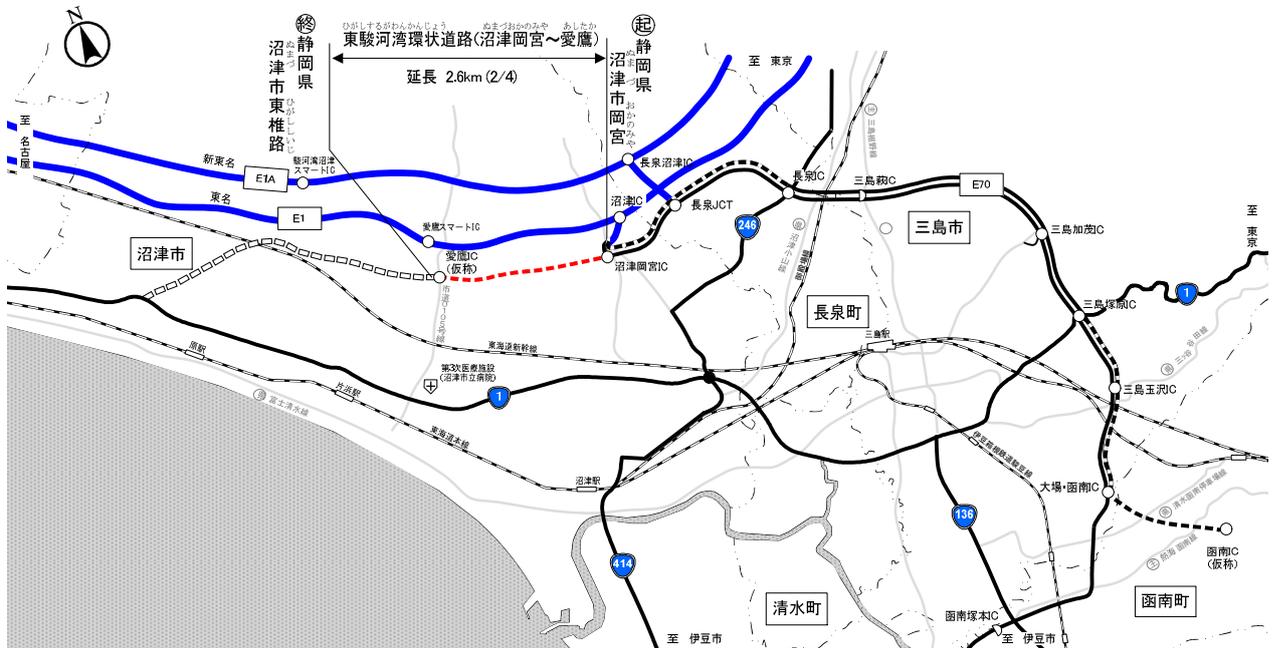


出典: 平成27年全国道路道路・街路交通情勢調査 旅行速度より算出

国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・昭和62年10月 都市計画決定
- ・平成27年4月 新規事業化
- ・平成28年7月 中心杭打ち
- ・平成30年6月 設計説明会

【令和7年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

- －関係機関協議、地質調査、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、橋梁詳細設計、用地買収を推進

<整備効果>

■定時性・時間の短縮

ぬまづ みしま
沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量の減少が見込まれるなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、定時性や移動時間の短縮が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

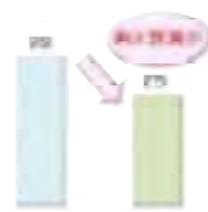
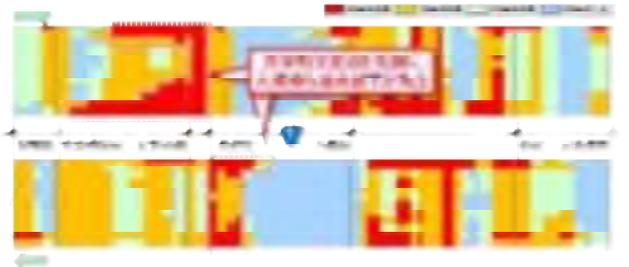
■災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

対象区間の整備により、沼津・三島都市圏を通過する国道1号の渋滞損失時間が約3割減少するなど、都市部での慢性的な渋滞が緩和し、通勤等の定時性・速達性の向上が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

○並行する国道1号の主要渋滞箇所



○並行する国道1号の旅行速度状況



国道1号の共設新交通ネットワークでは、特に駅の周辺等に歩行者や自転車が増加しており、大きな負担となっています。
本改善計画は道路・歩道両方一帯域への整備により、国道1号の渋滞が緩和すれば、歩行者が歩けるほか、ドライバーの通勤時間が削減でき、物流の2024年問題に対応できるように考えています。

至
南
上



至
御
殿
場

至
箱
根
・
伊
豆

凡例	
—	計画路線
—	高速自動車道
—	一般国道
—	主要地方道 一般県道

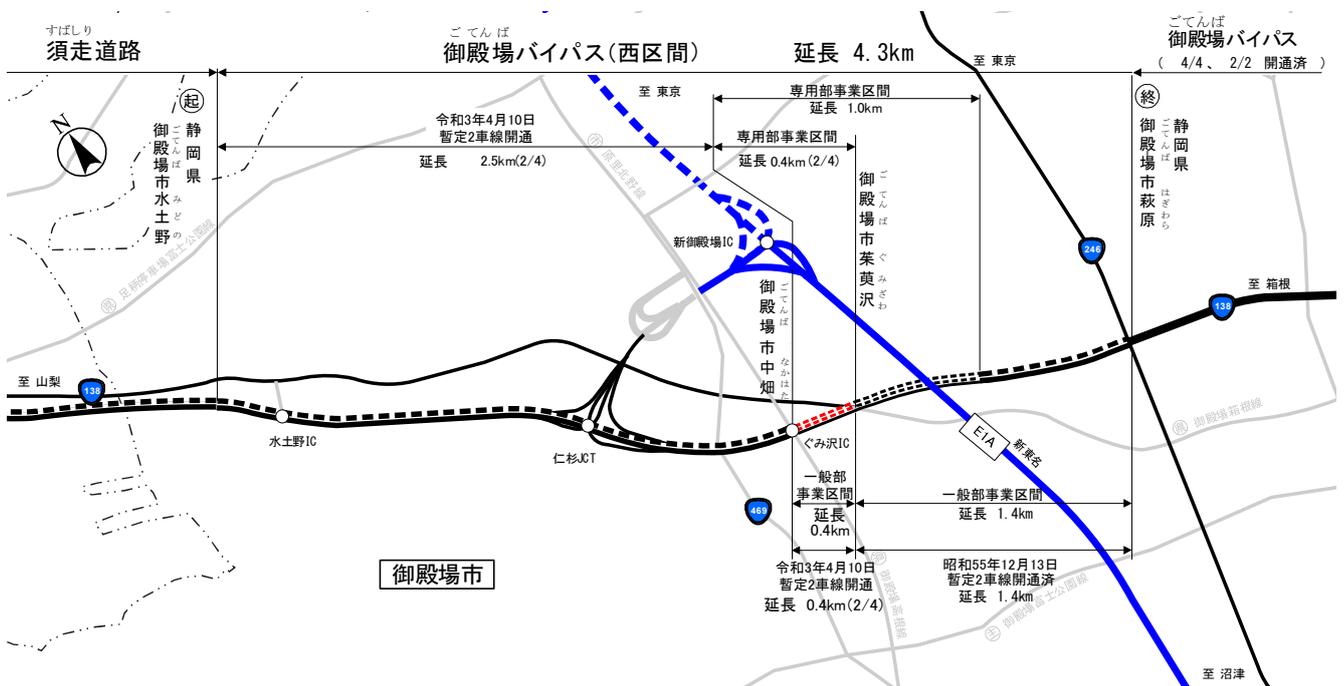
R5.11月撮影

ひがしするがわんかんじょう ぬまづおかのみや あしたか
国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称））の状況写真

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び、東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通
- ・平成11年4月 新規事業化
- ・令和3年4月10日 御殿場市水土野～御殿場市中畑（延長2.5km）暫定2車線開通

【令和7年度の主な事業内容】

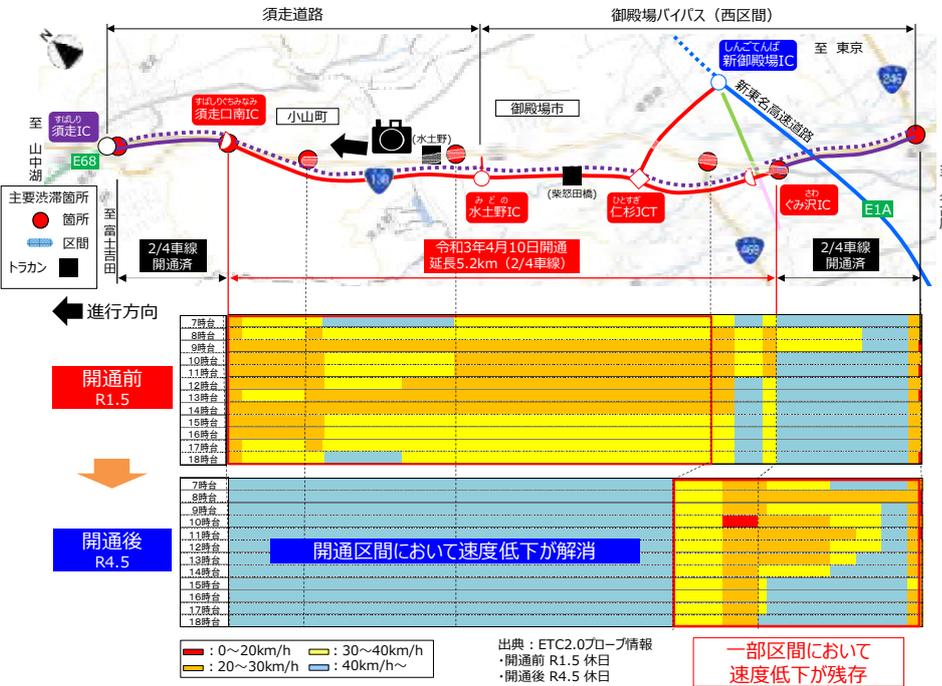
- 御殿場市中畑～御殿場市ぐみ沢（延長0.4km）
—関係機関協議を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の开通により、並行する現道の交通量が転換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における速度低下が緩和されました。

○开通後の旧国道138号の旅行速度の変化



○国道138号の利用状況



■旧国道138号の渋滞状況(📷)



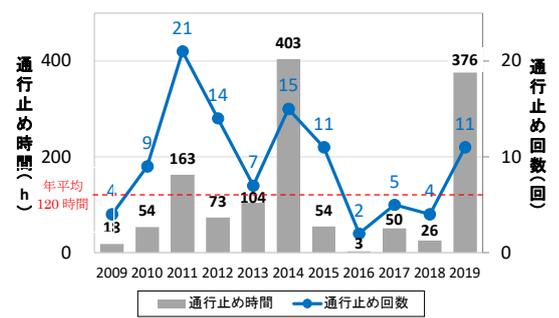
■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、中央自動車道の通行止め時に、東名・新東名高速道路へ迂回が可能になる等、防災ネットワークが強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも自動車専用道路ネットワークで迂回が可能



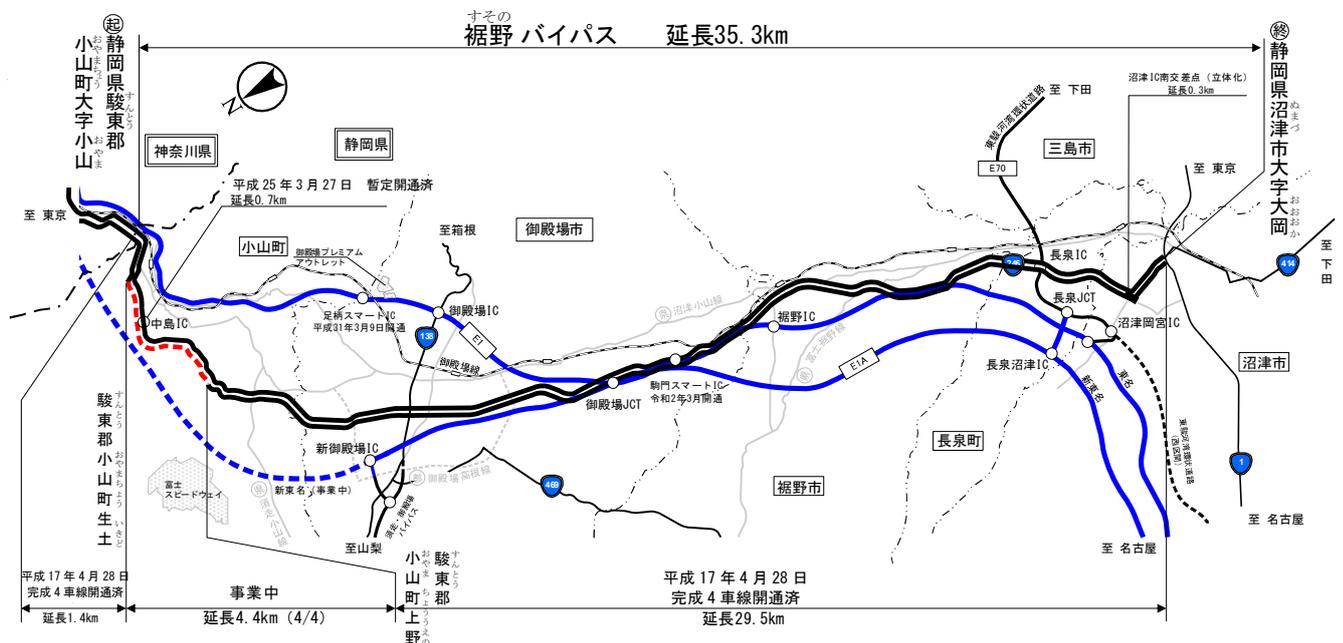
○中央自動車道の通行止め発生状況



国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び、小山市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土 (延長1.4km) 完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡 (延長29.5km) 完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島IC 暫定開通

【令和7年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野 (延長4.4km)

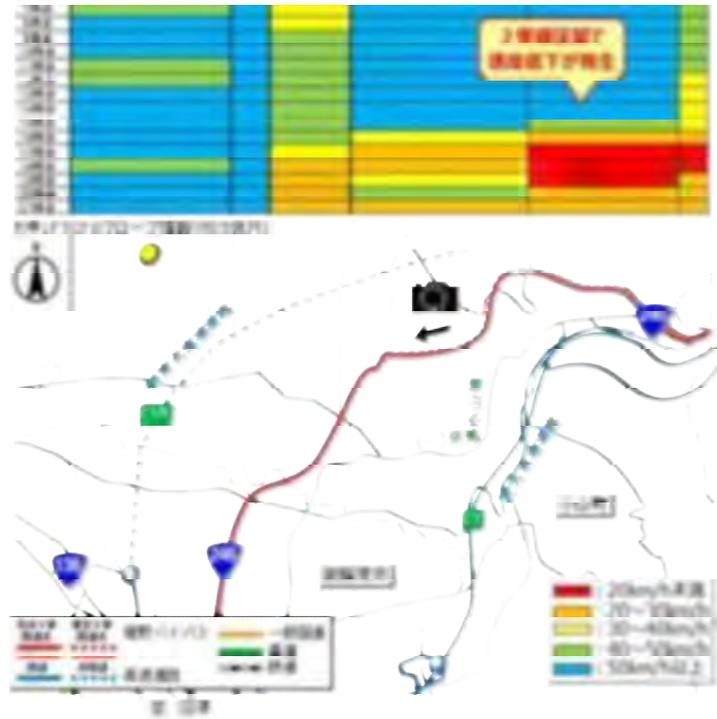
－関係機関協議、用地調査、環境調査、水文調査、用地買収を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

すその
裾野バイパスの4車線整備により観光期（休日）における交通渋滞が緩和し、円滑な交通の流れの確保が期待されます。

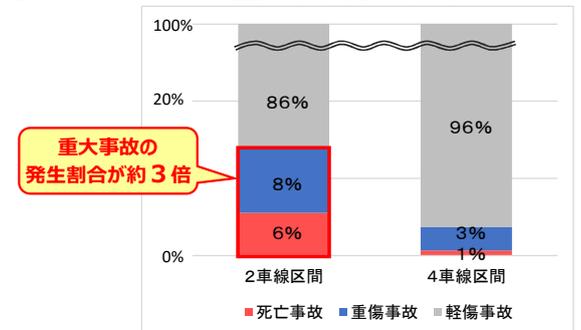
○暫定2車線区間の交通状況（休日上り）



■交通事故の削減

すその
裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待されます。

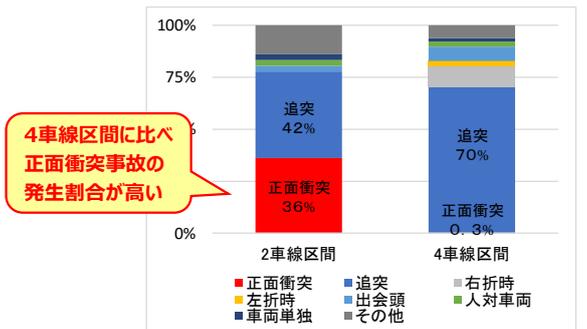
○裾野バイパスの重大事故発生割合



出典：交通事故統合データベース（H23～R2）

※重大事故とは...死亡事故もしくは重傷事故

○裾野バイパスの交通事故類型（死亡、重傷、軽傷含む）



出典：交通事故統合データベース（H23～R2）



国道246号 裾野バイパス（中島IC付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや、路面清掃・除草など適切な道路の維持管理により、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には、大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁・トンネル・函渠・横断歩道橋・道路情報板など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで、橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

○南海トラフ地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】

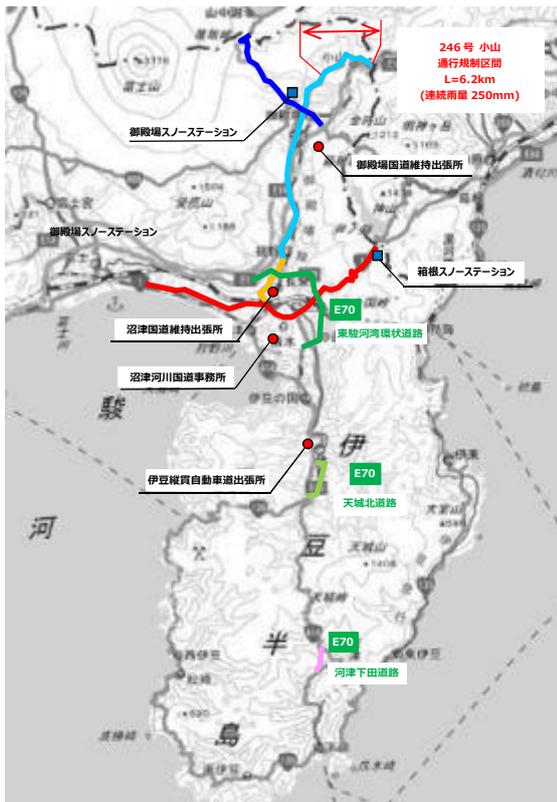


施工前



完成

■管理延長・事前通行規制等



管理区間総延長：110.9km

○沼津国道維持出張所（管理延長 38.4km）

国道 1 号 函南町～沼津市 管理延長 32.9km

国道 2 4 6 号 長泉町～沼津市 管理延長 5.5km

○御殿場国道維持出張所（管理延長 46.9km）

国道 1 3 8 号 小山町～御殿場市 管理延長 16.7km

国道 2 4 6 号 小山町～裾野市 管理延長 30.2km

○伊豆縦貫自動車道出張所（管理延長 25.6 km）

**国道 1 号 東駿河湾環状道路（伊豆縦貫自動車道）
（連絡路含む）**

函南塚本 IC～沼津岡宮 IC 管理延長 16.7km

国道 4 1 4 号 天城北道路（伊豆縦貫自動車道）

月ヶ瀬 IC～大平 IC 管理延長 5.5km

国道 4 1 4 号 河津下田道路（伊豆縦貫自動車道）

河津逆川 IC～河津七滝 IC 管理延長 3.4km

大雨

○ 事前通行規制

路線名	名称	担当出張所	交通規制区間		延長	通行規制(通行止) 気象条件
			区間	距離標		
246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp～ 95.6kp	6.2km	連続雨量 250mm

大雪

○ 予防的通行規制区間

路線名	名称	担当出張所	交通規制区間		延長
			区間	距離標	
1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町大字桑原字 茨ヶ平～大字桑原字枯木	103.0kp～ 106.7kp	3.7km
東駿河湾 環状道路 (連絡路 含む)	東駿河 湾環状 道路	伊豆縦貫自動車道 出張所	静岡県田方郡函南町塚本～ 静岡県沼津市足高	109.6kp～ 126.4kp	16.7km
246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp～ 95.6kp	6.2km
138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp～ 20.6kp	5.3km
天城北道路	天城北 道路	伊豆縦貫自動車道 出張所	静岡県伊豆市月ヶ瀬～ 静岡県伊豆市大平	0.0kp～ 5.5kp	5.5km

○ チェーン規制区間

路線名	名称	担当出張所	交通規制区間		延長
			区間	距離標	
138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町須走地内	15.3kp～ 20.6kp	5.3km

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに、安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【令和7年度の主な事業箇所】

○静岡県三島市山中新田 静岡1号交通安全対策事業（山中新田地区事故対策）

- ・速度抑制等により安全性の向上を図ることで、交通事故の防止を図る。
 - －調査、工事を実施

○静岡県駿東郡小山町上野 静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良）

- ・安心で安全に通行できるよう線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
 - －調査、工事、用地買収を実施

◆電線共同溝

【令和7年度の主な事業箇所】

○静岡県駿東郡清水町玉川～八幡 静岡1号電線共同溝事業（伏見電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - －調査設計等を実施

○静岡県御殿場市萩原～二枚橋 静岡138号電線共同溝事業（萩原電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - －調査設計等を実施

交通安全対策等状況写真



R 138 萩原電線共同溝



地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

R 1 伏見電線共同溝



地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

R 246 小山上野地区視距改良



国道246号静岡神奈川県境付近は、大型車が多く急勾配かつ急カーブが連続

R 1 山中新田地区事故対策



道路構造が一定ではなく、運転しにくい道路となっている

沼津市花園町地区を静岡県初の「ゾーン30プラス」として登録

「沼津市花園町地区」を静岡県初の「ゾーン30プラス」として令和3年に登録しました。
 また、「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」等により、重点的かつ効果的に事故重点対策を推進していきます。
 生活道路の安全対策を支援するとともに、「ヒト中心のウォーカブルなまちづくり」につながる道路空間づくりを進めていきます。



ハンプ



路面標示



(5) 危機管理

静岡県東部・伊豆地域の自治体・関係機関との連携等や各種訓練等を実施し、災害発生の防止、被害の軽減を図ります。

◆ 各種会議、訓練等の実施 — 自治体、関係機関との連携 —

洪水氾濫や土砂災害等による被害を軽減するために、地域の自治体、関係機関と連携を図るための連絡会議、また、出水等発生時に迅速に対応できるよう、各種訓練や重要水防箇所合同巡視等を実施しています。



令和6年度 水防連絡会
【R6年 5月】



令和6年度 重要水防箇所合同巡視
【R6年 5月】

◆ 観測体制の構築 — 直轄管理区間内に気象観測網を整備 —

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるXバンドレーダーや、雨量観測所20箇所及び、河川水位観測所15箇所を設置しています。また、降雨状況や水位状況及び、CCTVカメラ54箇所により、河川・海岸の状況把握を常時実施しています。収集したデータより、水防団や一般住民に対して水防警報・洪水予報をはじめとする各種予警報及び、海岸水防警報を発令し迅速な情報提供を行っています。

なお、インターネットを通じ、雨量・水位情報の提供を行っています。



ほんじゆく きせがわ
本宿水位・流量観測所(黄瀬川)

R3. 7. 3 9 : 10時頃の映像(R3.前線による大雨)CCTVカメラにより撮影

この日は、黄瀬川上流の 愛鷹雨量観測所にて、累計808mmの雨が降り、本宿地点の時刻水位は、5.37mと戦後2番目の水位を記録しました。

◆ 災害対策車両の配備 — 来る災害に備えて所内に車両を配備 —

災害対策車両を当事務所に配備し、災害時の迅速な対応を図ります。また、自治体からの要請により、災害対策車両を派遣し支援を行います。



近年の排水ポンプ車稼働実績
(R1: 令和元年東日本台風(三島市御園地区))



近年の排水ポンプ車稼働実績
(H29: 台風21号(函南町新田地区))

◆ 災害時の広域支援 — 国土交通省のネットワークを生かした広域支援 —

○ 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣



現地情報連絡員(通称:リエゾン)
—フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味—

災害時に圏域の自治体との連携を密接に図るため、圏域の18自治体とリエゾン派遣に関する協定を締結し、災害が発生又は発生するおそれのある場合には直ちにリエゾンを派遣し、情報収集や支援ニーズの把握を行います。

○ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

大規模自然災害の発生または、発生する恐れがある場合に、被災した自治体等に対して、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び、拡大防止、被災地の早期復旧等、また、その他の災害応急対策に対する技術的な支援を行います。



【参考】令和7年度の事業費内訳

(単位:百万円)

事業内容	区分 費目	狩野川	狩野川 砂防	富 海 士 岸	令和7年度 事業費計	前 年 度 初 当	前 年 度 補 正 等	
治水 関係 事業	一般河川改修	1,184			1,184	1,168	745	
	総合水系環境整備事業	67			67	42	0	
	河川維持修繕	783			783	766	499	
	河川工作物関連応急対策事業	130			130	130	0	
	砂防関係 砂防事業			792	792	832	384	
	海岸関係 海岸保全施設整備事業				0	705	-	
小計		2,164	792	0	2,956	3,643	1,628	
事業内訳	区分 費目	路線名				令和7年度 事業費計	前 年 度 初 当	前 年 度 補 正 等
		1号	138号	246号	414号			
道路 関係 事業	伊豆縦貫自動車道	10	0	0	5,142	5,152	3,263	950
	一般道路	650	10	163	0	823	709	100
	計	660	10	163	5,142	5,975	3,972	1,050
交通安全	交通安全	752				752	734	130
	計	752				752	734	130
電 共 同 線 溝	電線共同溝	52				52	81	0
小計						6,779	4,787	1,180
合計						9,735	8,430	2,808

- ※ 上記金額は、「河川及び道路整備勘定」のみである。
- ※ 道路関係事業の路線別は、「改築関係」のみを記載している。
- ※ 上記金額は、「百万円」単位で整理しているため、合計金額が合わない場合がある。

沼津河川国道事務所の組織

令和7年 4月 1日 現在

